



とうえい

令和6年4月24日
東栄小学校
学校だより第1号

ありがとう



東栄小学校には、「ありがとうの花」がたくさん咲いていました。

朝、北門のところであいさつをしていると、元気な声で「おはようございます」と返してくれる子どもたち。元気にあいさつをしてくれて「ありがとう」。その傍らから、声をそろえた「おはようございます」が聞こえてきます。声のする方を見ると、数名の子どもたちが、登校する子どもたちに向かってあいさつをしているではありませんか。そして、北門から数メートル入ったところにも、また、西門の階段のところにも自主的にあいさつをしている子どもたちがいました。思わず、東栄小を明るくしてくれて「ありがとう」。



そうじの時間、ぬれぞうきを両手でおさえて、低い姿勢で廊下をぞうきがけしている子どもたち。教室や廊下、昇降口など、隅々までほうきではいて、たくさんのほこりを集めている子どもたち。それを小ぼうきでちり取りに入れている子どもたち。トイレの床や便器を一生懸命に磨いている子どもたち。東栄小をきれいにしてくれて「ありがとう」。



始業式の後、先生たちが体育館の窓を閉めようとする、さっと駆け寄って窓を閉めてくれる6年生たち。司会台を片付けようとする、手伝いに駆けつけてくれる6年生たち。避難訓練の後、朝礼台を片付けようとする、またまた手伝ってくれる6年生たち。上靴のまま運動場に出たので、砂が上がってしまった昇降口をそうじしてくれていた6年生たち。6年生、すてきな姿を「ありがとう」。



私は、入学式でも始業式でも、子どもたちに「ありがとう」という言葉は、友だちを増やして学校をより楽しくしてくれる魔法の言葉だから、たくさん使うといいよと伝えました。それは、東栄小学校を「ありがとうの花」がたくさん咲く幸せな学校にしたいと思ったからです。しかし、東栄小学校は、今までの子どもたち、保護者の皆様、地域の方々、先生たちのおかげで、すでに「ありがとうの花」がいっぱい咲いていました。私は思いを新たにしました。東栄小学校を「ありがとうの花」が咲き誇る「ありがとうの花畑」にして、もっと幸せな学校にしよう。

保護者の皆様、これまで、幸せな東栄小学校を築き上げることにご協力いただき、誠にありがとうございました。これからも子どもたちに「ありがとう」をたくさん言ってあげてください。きっと子どもたちもたくさんの「ありがとう」を返してくれると思います。幸せの合言葉は「ありがとう」。ぜひ、この合言葉を大切にして、東栄小学校を「ありがとうの花」が咲き誇る「ありがとうの花畑」にし、ますます幸せな学校にすることにご協力ください。

(校長 中島 学路)